

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

2009 ネットワークスペシャリスト「専門知識＋午後問題」の重点対策（第1版 第1刷）

No.	訂正箇所	誤	正
1	P. 108 第2章 問3 〔無線 LAN のセキュリティ〕 会話文 下線追加	H 氏：そうですね、(途中省略)。IEEE 802.1X の仕組みを導入しても、WEP は引き続き利用する必要がありますが、WEP キーの運用にかかわる営業担当者の作業負担を軽減することができます。	H 氏：そうですね、(途中省略)。 <u>IEEE 802.1X の仕組みを導入しても、WEP は引き続き利用する必要がありますが、WEP キーの運用にかかわる営業担当者の作業負担を軽減することができます。</u>
2	P. 258 上から 8～9 行目 会話文 下線追加	～を我が社に送信したときに、②発信者が処置に困るような問題が発生すると思うが。	～を我が社に送信したときに、 <u>②発信者が処置に困るような問題</u> が発生すると思うが。
3	P330 問4 下から 10 行目	X 社では、拠点間の接続を二重化した後に、SK 及び本社の HK を本社へ移転して～	X 社では、拠点間の接続を二重化した後に、SK 及び本社 以外 の HK を本社へ移転して～
4	P. 387 下から 2 行目 会話文 下線追加	～を提供していますが、①光ファイバ接続による	～を提供していますが、 <u>①光ファイバ接続</u> による
5	P. 462 設問2 (1) 上から 9～10 行目	～が行われると、V1+E1+PT というデータが現れてきます。すると、V1 によって、さらにカプセル化の逆処理が行われます。その結果は、E1+PT というフレームになります。	～が行われると、V1+E1+ DT というデータが現れてきます。すると、V1 によって、さらにカプセル化の逆処理が行われます。その結果は、E1+ DT というフレームになります。